

平成28年度 社会福祉法人大田市社会福祉協議会 事業報告

概 要

本会は、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、本年度最終年となります「大田市地域福祉活動計画」に基づき「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、地域における福祉活動の推進に努めるとともに、平成29年度から実施いたします「第2次大田市地域福祉活動計画」を策定いたしました。

また、社会福祉法の改正に伴い、定款や経理規程を改正するなど新しい法人運営に関する体制強化を図りました。

さらに、東日本大震災から6年を迎えたことから、本市においては東日本大震災を教訓に、ボランティアセンターの充実を図るとともに地区社会福祉協議会や関係機関と協力し、島根県社会福祉協議会との共催による「災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座」を開催し、災害時における災害ボランティアセンター運営訓練を行い、災害時における対応方法等について貴重な体験を得ることができました。

生活困窮者自立支援事業については、多様化・複雑化する課題に対する相談窓口として「生活サポートセンターおおだ」において、家計相談、就労相談のほか、緊急現金や食糧支援による緊急的支援を行うとともに、困窮状態から脱却できるよう総合的な支援を関係機関と連携を図りながら取り組みました。

介護予防に関する事業では、新たに生活支援体制整備事業を受託し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、地域において生活支援を図り、支え合いの体制が設けられるよう生活支援コーディネーターを配置し、地域の関係団体等と地域における生活課題の把握を行いながら、市内5地区に立上った「通いの場」のモデル地区に対して、毎月1回以上は出向いていき運営の支援を行いながら、今後立上げを検討されている地域に対しても、訪問・説明等を行いました。

次に、地域において福祉活動を推進されている福祉委員の方々についても「福祉委員活動のてびき」に基づき、福祉委員の意識の向上と民生児童委員との連携や地域住民の方々との関わりについて地域における研修を行ってまいりました。

本会が推進する福祉活動や各種研修会等の周知を図るなどの広報活動の充実を図るために、ホームページを開設いたしました。

今年度の事業につきましても、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会並びに関係機関・団体等のご理解とご協力をいただきながら概ね計画通り事業を推進してまいりましたが、今後、地域の中で福祉活動の場が増えることに伴う人材の確保や日常生活自立支援事業においても、増え続ける需要に対して生活支援員の不足など福祉活動に協力していただけるボランティアの育成が急務の課題であり、本会が実施する各種の講座や研修会の開催を通じた人材養成の必要性があります。

平成28年度に実施いたしました、事業は以下のとおりです。

法人運営事業

1. 理事会

◇第45回

- ・期 日 平成28年 5月30日(月) 9:30
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1) 平成27年度事業報告について
(2) 平成27年度収支決算について
(3) 評議員の欠員による補充選任について

◇第46回

- ・期 日 平成28年12月22日(木) 15:00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1) 評議員の欠員による補充選任について
(2) 定款の全部改正について
(3) 評議委員選任・解任委員会運営規程の制定及び同委員の選任について
(4) 職員給与規程の一部改正について
(5) 就業規則の一部改正について
(6) 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
(7) 生活支援員就業規則の一部改正について

◇第47回

- ・期 日 平成29年 2月28日(火) 10:00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1) 評議員候補者の推進について
(2) 評議員選任・解任委員会の招集について

◇第48回

- ・期 日 平成29年 3月28日(火) 10:00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1) 平成28年度資金収支補正予算(第1号)(案)について
(2) 第2次大田市地域福祉活動計画(案)について
(3) 平成29年度事業計画(案)について
(4) 平成29年度資金収支予算(案)について
(5) 定款細則の一部改正について
(6) 経理規程の一部改正について
(7) 会員規程の一部改正について
(8) 規程管理規程の一部改正について
(9) 事務局規程の一部改正について
(10) 福祉サービス利用援助事業に関する保管物件管理規程の一部改正について
(11) 生活支援員就業規則の一部改正について
(12) 日常生活自立支援事業利用料等免除取扱要領の制定について

2. 評議員会

◇第35回

- ・期 日 平成28年 5月30日(月) 13:30
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1) 平成27年度事業報告について
(2) 平成27年度一般会計及び特別会計収支決算について

◇第36回

- ・期 日 平成28年12月26日(月) 10:00
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1) 定款の全部改正について
- ・報告事項 (1) 評議員選任・解任委員会運営規程の制定及び同委員の選任について
(2) 職員給与規程の一部改正について
(3) 就業規則の一部改正について
(4) 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
(5) 生活支援員就業規則の一部改正について

◇第37回

- ・期 日 平成29年 3月28日(火) 13:30
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1) 平成28年度資金収支補正予算(第1号)(案)について
(2) 平成29年度事業計画(案)について
(3) 平成29年度資金収支予算(案)について
(4) 定款細則の一部改正について
(5) 会員規程の一部改正について
- ・報告事項 (1) 第2次大田市地域福祉活動計画の策定について
(2) 経理規程の一部改正について
(3) 規程管理規程の一部改正について
(4) 事務局規程の一部改正について
(5) 福祉サービス利用援助事業に関する保管物件管理規程の一部改正について
(6) 生活支援員就業規則の一部改正について
(7) 日常生活自立支援事業利用料等免除取扱要領の制定について

3. 監査会

◇監査対象期間 平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日

- ・期 日 平成28年 5月16日(月) 9:30
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・内 容 平成27年度大田市社会福祉協議会事業報告、決算監査

4. 評議員選任解任委員会

- ・期 日 平成29年 3月14日(火) 10:00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1) 委員長の選任について
(2) 大田市社会福祉協議会評議員の選任について

5. 広報活動

- ◇社協だよりを発行し、地域の福祉活動やボランティア情報を掲載 6回(A4版8頁)
 - ・発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月
 - ・発行部数 14,100部(1回あたり)
- ◇ホームページの開設

地域福祉推進事業

1. 第2次大田市地域福祉活動計画の策定

大田市における地域福祉をより一層推進できるよう、第2次大田市地域福祉活動計画を策定し、大田市が策定する第2次大田市地域福祉計画と一冊にまとめ、連携して地域福祉活動の展開が図られるよう共同で発行した。

2. 地区社会福祉協議会活動支援及び連携強化

地域に根ざした福祉活動が計画的に実践されるよう地区社協に対して、包括的な支援を実施した。地域では、地域防災や見守り活動など計画による取り組みや、ふれあい・いきいきサロンの拡充など積極的な事業展開が図られた。

(1) 地区社会福祉協議会連絡会の開催

- ◇開催日時 平成28年 4月25日(月) 9:30
- ◇場 所 大田市民センター 4階
- ◇内 容 等 平成28年度大田市社会福祉協議会補助・指定事業等について

(2) ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

- ◇指定グループ数 5グループ(指定一覧:別紙1参照)、サロン総数:148グループ

(3) 地域ふれあい交流事業

異世代との交流を通して相互理解を深め、子どもたちが地域に学び、地域を知る活動を通して、豊かな心や地域への愛着を培えられるよう地域住民が子どもたちと一体となって、様々な活動を展開した。

24地域において、地域の子どもたちを地域で育てていく気運づくりが図られた。

- ◇指定地区 大田、川合、池田、志学、北三瓶、朝山、波根、久手、長久、鳥井、静間、五十猛、久利、大森、水上、祖式、大代、温泉津、福波、湯里、仁万、宅野、大国、馬路
- ◇内 容 高齢者・地域住民等との交流事業、幼児・児童との交流事業、地域の伝統・文化活動等による交流事業等

(4) 地区社会福祉協議会活動支援事業助成金

地区社会福祉協議会が推進する小地域地域福祉活動計画の策定及び地域福祉事業を円滑に実施できるように助成を行った。

(5) 地域研修事業

地区社協と地区担当職員が連携し、地域での福祉活動に関する研修事業を実施することにより、地域福祉事業に対する理解と地域住民の積極的な参加の啓発を図った。

- ・実施地区 27地区社協
- ・実施内容 福祉委員活動について：11地区社協
地域づくりに関する研修：16地区社協
- ・研修参加者 632名

3. ボランティア・市民活動支援事業

(1) ボランティア活動に関する相談・派遣調整

① ボランティア派遣調整

- ・団体及び施設行事へのボランティア派遣13件（活動者延べ111名）
- ・食育活動ボランティア派遣：147件

② 企業・団体等が行う社会貢献活動

◇大田市建築組合による住宅補修ボランティア活動

全国建設労働組合総連合が6月25日を「住宅デー」として地域に根ざした建築活動と呼びかけ、同組合では一人暮らし高齢者世帯及び高齢者夫婦世帯宅での住宅修繕活動を実施。

- ・期 日 平成28年 6月26日（日）
- ・場 所 祖式町（3件）
- ・内 容 住宅修繕（雨どいの清掃・修繕、網戸の取付等）

③ ボランティア保険加入手続き事務

◇ボランティア活動に関する各種保険業務

- ・ボランティア保険 2,029名（事故対応 1件）
 - 内訳 Aプラン 1,788名
 - Bプラン 233名
 - 天災A 1名
 - 天災B 7名
- ・送迎保険 23件（事故対応 0件）
- ・ボランティア行事用保険 387件（事故対応 1件）
- ・福祉サービス総合保障 11件（事故対応 1件）

④ 民間助成事業業務

◇民間助成事業の周知

民間助成ニュース速報（月2回）を関係機関へ周知

◇申請希望団体への申請に係る支援

申請時の相談、助言及び団体推薦書等の作成：3件

◇山陰中央新報社会福祉事業団 「愛のともしび募金」助成事業申請事務

大田市から6団体が採択された。

アイラブたたらばら、笑の会、お茶っこサロン、きずなグループ、
すこやかサロン、ダンボの会

⑤収集ボランティア活動

毎日の暮らしの中で簡単・手軽に取り組める収集ボランティア活動の推進を図った。

◇使用済み切手：22件

〈送付先（収集体体）〉

・誕生日ありがとう運動本部（障がい者福祉活動の啓発）

◇プルタブ：24件

〈送付先（収集体体）〉

・大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」に協力

◇ペットボトルのキャップ：29件

〈送付先（収集体体）〉

・NPO法人（内閣府認証）エコキャップ推進協会に送付

⑥ボランティア研修等の他機関との連携

◇病院ボランティア養成講座への協力（障がいに関する講座・疑似体験）

・期 日 平成28年 7月13日（水）

・会 場 大田市立病院第1会議室

・参加者 11名

◇こころの健康ボランティア養成講座実行委員会への参加

・検討会への参加：全2回

・養成講座の実施：全4回開催（受講者数 4名）

(2) 啓発活動

①緩和ケア啓発事業

がんなどの病気において、発見から終末までの苦痛や精神的な不安などをやわらげ、その人らしく生きられるように医療・保健・福祉サービスが一体的に提供されるよう、自主活動グループ「緩和ケアネットワーク大田」の構成団体として活動に取り組んだ。

◇構成団体 医療機関、民間団体、一般住民、訪問看護ステーション、
介護保険事業所、地域包括支援センター、行政機関等 会員49名

◇活動内容 緩和ケアの啓発活動

◇座談会回数 5地区で開催

開催日	9/11(日)	9/11(日)	9/25(日)	11/6(日)	11/12(土)	計
地区	川合	温泉津	静間	祖式	志学	5地区
講師	川上医師	須田医師	合原医師	山内医師	長坂医師	
	渡邊医師	中本保健所長	小野医師	梅枝医師	山口薬剤師	
	楫野歯科医師	前田歯科医師	中村歯科医師	大庭歯科医師		
参加者数	5名	8名	20名	38名	19名	90名

◇「緩和ケアを考える集い」の開催

- ・テーマ 緩和ケアはここからはじまる
- ・期 日 平成29年 3月5日(日) 13:00～15:30
- ・会 場 あすてらす
- ・内 容 講演、コンサート、活動展示、安心ノート販売
- ・演 題 がん哲学外来～医療の隙間を埋める～
- ・講 師 順天堂大学医学部 教授 樋野 興夫氏

②自死予防対策

大田圏域における自死予防に関する課題や対策について、関係機関と連携し協議、取り組みを行った。

◇大田圏域自死予防対策連絡会への参加

- ・平成28年 6月23日(木)

◇大田市自死対策検討会への参加

- ・平成28年 7月 4日(月)
- ・平成28年 9月20日(火)
- ・平成29年 2月 3日(金)

◇自死予防週間啓発活動への参加

- ・期 日 平成28年 9月 5日(月)
- ・会 場 島根中央地域職業訓練センター
- ・内 容 街頭キャンペーン

◇ゲートキーパー研修会への参加

- ・期 日 平成29年 2月 7日(火)
- ・会 場 大田市民センター
- ・内 容 自死の危険を示すサインに気づき、つなぎ、見守る人材育成
- ・参加者 社協より5名

(3) 災害時支援に関する活動

◇大田市総合防災訓練への参加

- ・期 日 平成28年10月29日(土)
- ・会 場 大田小学校体育館(主会場)
- ・主 催 大田市
- ・内 容 災害ボランティアに関するパネル展示及びDVD上映

◇災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座の共催及び参加

- ・期 日 平成29年1月17日(火)・18日(水)
- ・会 場 大田市民センター4階 軽運動室
- ・主 催 島根県社会福祉協議会
- ・内 容 災害ボランティアセンターの運営に関する講義及びロールプレイ
地区社会福祉協議会、民生児童委員、登録ボランティア、自主防災組織、他市町村社会福祉協議会等、様々な団体・組織より参加があった。

◇平成28年度しまね災害福祉広域支援ネットワークへの登録及び派遣

- ・福祉専門職登録者数：3名（社会福祉士）

◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定の締結

(4) 活動支援

◇機材・用具等の貸出し

- ・車イスの貸出し

高齢者、障がい者あるいはケガの方に無料貸出し：19件（貸出し延べ台数44台）

- ・体験学習用品の貸出し

学校及び地域に対して福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し：7件

- ・軽スポーツ・レクリエーション及びイベント用具の貸出し

軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し：163件

機材等貸出し：53件（機材・ポップコーン機・綿菓子機）

4. 障がい者社会参加促進事業

(1) 奉仕員養成事業

①点訳奉仕員養成講座（点訳サークルに協力依頼し、実施）

- ・実施者 点訳サークルたんぼぼ

- ・実施日 平成28年 9月10日～平成29年 1月28日

- ・実施数 全12回

- ・会場 大田中央図書館 2階会議室

- ・受講者 3名

②手話奉仕員養成講座

- ・実施者 大田市社会福祉協議会

- ・実施日 平成28年 8月 3日～平成29年 3月22日

- ・実施数 全18回

- ・会場 大田市民センター2階 社会福祉協議会会議室

- ・受講者 26名

③手話奉仕員フォローアップ研修

- ・実施者 大田市社会福祉協議会

- ・実施日 平成28年10月29日～平成29年 3月11日

- ・実施数 全5回

- ・会場 大田市民センター2階 多目的室

- ・受講者 8名

(2) 技術ボランティア団体の活動支援

①点訳サークルたんぼぼ

◇点訳サークル定例会及び点訳作業

- ・実施日 毎月第1土曜日、第2～第4水曜日

- ・会場 大田市立中央図書館対面朗読室

- ・活動内容 広報おおだ等行政情報紙の点訳、点訳図書の作成、声のたよりの点字

シール作成、プライベート点訳依頼への対応など

◇点訳奉仕員養成講座への講師派遣（全12回：各回2名派遣）

◇学校への講師派遣

- ・長久小学校 点字体験講座（平成29年 2月17日：5名派遣）

◇研修会の開催

- ・実施日 平成28年 6月 4日（土）
- ・会場 出雲市社会福祉センター
- ・活動内容 英語点字表記変更について
- ・参加者 5名

②手話サークルどんどろ

◇手話サークル定例会

- ・実施日 毎月第1・第3水曜日
- ・会場 大田市民センター

◇ろうあ者のつどい

- ・実施日 毎月第2木曜日
- ・会場 大田市民センター

(3) 点字・声の広報等啓発事業

①点字広報の発行

◇点訳サークルたんぽぽに依頼し実施した。

- ・発行回数 毎月1回（12回）
- ・配布数 2部（1回あたり）

②音訳広報の発行

◇広報音訳グループ「ベルの会」に依頼し実施した。

- ・収録物
広報おおだ 年12回（月 1回）
市議会だより 年 4回（5月、7月、10月、1月）
社協だより 年 6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）
身障の友大田 年 3回（6月、11月、3月）
健康診断、不燃物収集の年間予定表 年 1回
- ・配布数 18本（1回当たり）

(4) 障がい者スポーツ大会開催事業

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し三障がい合同のスポーツ大会を実施した。

- ・期 日 平成28年 9月 9日（金）
- ・場 所 大田市総合体育館
- ・参加者 233名（身体：31名、知的：120名、精神：40名、施設職員：21名、ボランティア・スタッフ21名）
- ・種 目 鯛釣り・ゲート通し・ボール送りリレー・輪投げ・パン食い競争・ボール運び・ビン倒し・玉入れ・的入れ・色別リレー

(5) 重度身体障がい者移動支援事業

◇リフト付自動車の運行

- ・利用登録者数 131名 (休止者含む)
- ・ボランティア 36名 (運転者・補助員：明星の会)
- ・年間利用者数 221名
- ・運行用務 市立病院 (リハビリ) への通院、買い物等

(6) 生活訓練事業

①視覚障がい者の集い

◇大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。

- ・実施日 平成28年 5月15日 (日)
- ・場所 松江市 宍道湖観光遊覧船はくちょう
- ・参加者 33名 (視覚障がい者：15名、ボランティア：16名、スタッフ：2名)
- ・内容 日頃1人では見知らぬ所には外出する事が出来ない視覚障がい者の社会参加とボランティアの皆さんとの交流を行った。

②バスハイキング事業の実施

◇大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。

- ・実施日 平成28年10月21日 (金)
- ・場所 出雲市 神門通りと古代出雲歴史博物館
- ・参加者 82名 (障がい者・家族：61名、ボラ：19名、スタッフ：2名)
- ・内容 身体障がい者の歩行訓練を兼ね、社会見学を行った。

③障がい者との体験ツアーの実施

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し実施した。

- ・実施日 平成28年 6月26日 (日)
- ・場所 山口県 萩・世界遺産ビジターセンター学び舎
- ・参加者 146名 (障がい者・家族介護者：115名、ボラ：20名、手話通訳・スタッフ：11名)
- ・内容 ボランティアの方に協力いただき、障がい者の方との交流を深めながら見学・散策を行った。

④身体障がい者パソコン教室

◇大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した

- ・実施日 平成28年10月 4日 (火)～11日 (火) 全4回
- ・場所 島根中央地域職業訓練センター 1階パソコン教室
- ・受講者 身体障がい者 5名
- ・内容 パソコン基本操作から文字入力、画像処理等、個人のレベルと要望に沿った内容を実施。会員の中のパソコン愛好者によるマンツーマン方式で指導を行った。

⑤福祉講演会

◇大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した

- ・実施日 平成29年 3月 4日 (土)

- ・場 所 大田市民会館 1階 中ホール
- ・参加者 70名(身体障がい者64名、手話通訳2名、講師2名、スタッフ2名)
- ・内 容 講演会とミニコンサート
講演会講師：松浦有里子氏
演題：ヤクルト「ウン知育(ちいく)教室」

(7) 地域生活アシスタント事業

◇知的障がい者地域生活協力員養成講座を実施した。

- ・実施日 平成29年 3月15日(水)
- ・場 所 大田市民会館 2階 第1会議室
- ・受講者 7名 登録者108名(延人数)

(8) 芸術・文化講座開催等事業

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し、障がい者週間及び人権週間に併せ人権週間・障がい者週間啓発事業として実施した。

- ・愛 称 ふれあいフェスティバルおおだ
- ・実施日 平成28年12月 4日(日)
- ・場 所 サンレディー大田ふれあいホール
- ・講 演 講師 片岡 亮太氏
- ・来場者 500名(ボランティア手話：3名、要約筆記：4名、移動介助：8名)
- ・内 容 障がい者団体活動発表、人権作文発表、人権に関するパネル展示及び相談、「福祉ネットワークにじ」展示即売、福祉用具の展示・相談会

(9) 家族相談員紹介事業

◇社会福祉法人亀の子へ依頼し実施した。

- ・相談日 毎月第1・3木曜日 13:30~15:30
- ・場 所 社会福祉法人亀の子 地域活動支援センター
- ・相談件数 106件

(10) ボランティア活動支援事業

◇精神障がい者ボランティア団体うさぎの会へ依頼し実施した。

- ・石東病院及び亀の子へのボランティア 38回 88名(延べ人数)
- ・研修会等参加 1回 12名(延べ人数)
- ・交流会 6回 56名(延べ人数)
- ・会合の開催 全体会：1回18名、役員会：1回14名(延べ人数)、
その他：15回35名(延べ人数)
- ・会報の発行 5回

(11) 地域福祉サポーター養成講座

地域で生活する人の中で問題を抱えている人の困り事や配慮などを理解し、必要なときにちょっとした手助けができるサポーターを養成した。

◇聞こえのサポーター養成講座

- ・実施者 大田市社会福祉協議会
- ・実施日 平成28年12月17日(土)

- ・会 場 大田市民センター 2階多目的室
- ・受 講 者 23名
- ・内 容 聴覚障がいについての基礎知識、当事者の体験談、筆談と要約筆記について、筆談体験、ボランティア活動について

5. 大田市子育て支援団体連絡会の実施

サロン活動者に子育てサークルや関係機関を加え、当事者同志の意見交換を主とした活動内容で、子育て支援に関する課題を発掘し、行政や社協等とともにその対策に協働で努めていくものであり、当事者の声を主体とした有効な組織体として「大田市子育て支援団体連絡会」を開催した。

◇子育て支援団体連絡会

- ・開 催 日 平成28年12月6日（火）
- ・参加団体 サロン団体・サークル団体・行政・関係機関等

6. 福祉バス運行事業

社会福祉活動を推進するため福祉団体の活動等へ福祉バスを運行し、各種事業参加に対しての利便を図った。

- ・利用団体数 53団体（大田 25団体、温泉津 14団体、仁摩 14団体）
- ・利用回数 172回（大田 62回、温泉津 54回、仁摩 56回）

7. 高齢者福祉事業

(1) こころのたより発送事業

大田市民生児童委員協議会との共催で、市内在住の75歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦世帯に、声かけ・見守り等の安否確認を行うことを目的に暑中見舞いとして届けた。

- ・対象者 1,983名

(2) 地域介護予防活動支援事業

◇ふれあいいいききサロン・介護予防活動団体交流会

- ・開 催 日 平成28年 6月 7日（火）
- ・開催場所 大田市民センター 4階
- ・内 容 ①心をほぐすためのレクリエーション
講師 福島 恵美子氏（福祉レクリエーションワーカー）
②情報交換と交流
活動を活性化するためのヒント

- ・参加者 151名

◇スタッフ会

- ・開 催 日 平成29年 3月 6日（月）
- ・会 場 大田市民会館 中ホール
- ・参加者 取りまとめ団体 30名

- 実施予定団体 132名
- ・開催日 平成29年 3月 9日 (木)
- ・会場 温泉津まちづくりセンター
- ・参加者 取りまとめ団体 9名
実施予定団体 41名

◇全体研修 (リーダー研修)

①ふれあい・いきいきサロン研修会

- ・開催日 平成28年10月12日 (水)
- ・会場 大田市民会館 中ホール
- ・参加者 141名
- ・内容 回想法講演会
講演 「思い出かたりは元気のもと」
講師 鈴木 正典氏 (出雲市民病院麻酔科部長)

②地域福祉研修会

○第1回地域福祉研修会「地域で取り組む介護予防のまちづくり」

- ・開催日 平成28年 8月 5日 (金)
- ・会場 大田市民センター 4階
- ・参加者 142名
- ・内容 演題 「総合事業と地域づくりのこれから」
講師 永田 祐氏 (同志社大学社会学部准教授)

○第2回地域福祉研修会「新たな通いの場づくりについて」

- ・開催日 平成29年 2月17日 (金)
- ・会場 大田市民会館 大ホール
- ・参加者 365名
- ・内容 モデル地区事例報告
シンポジウム「地域主体の新たな通いの場づくりの取組み」
演題 「新たな通いの場づくり」の制度と意義
講師 作野 広和氏 (島根大学教育学部教授)

③元気づくりプログラム研修事業

- ・開催日 大田会場 7月14日 (木)
湯里会場 7月26日 (火)
大森会場 7月29日 (金)
朝山会場 8月29日 (月)
志学会場 8月31日 (水)
- ・参加者 171名 (大田:74名、湯里:30名、大森:25名、朝山:25名
志学:23名)
- ・講師 運動実践指導者 山根千恵美氏
- ・内容 「サロンで楽しくできる健康づくりパート2」

◇地区研修

	地区	団体数	申請団体		地区	団体数	申請団体
1	大田	8	地区社協	14	大屋	1	地区社協
		1	まちづくり推進協議会	15	久利	6	まちセン運営委員会
2	川合	5	ふるさとづくり21推進協議会	16	大森	7	まちセン運営委員会
3	池田	4	地区社協	17	水上	7	地区社協
4	志学	7	地区社協	18	祖式	6	地区社協
5	北三瓶	6	地区社協	19	大代	6	地区社協
6	富山	3	地区社協	20	温泉津	3	まちセン運営委員会
7	朝山	1	地区社協	21	福波	3	地区社協
8	波根	2	地区社協	22	湯里	6	まちセン運営委員会
		2	まちセン運営委員会	23	井田	5	まちセン運営委員会
9	久手	7	まちセン運営委員会	24	仁万	4	地区社協
10	長久	13	まちセン運営委員会			3	まちセン運営委員会
11	鳥井	9	まちセン運営委員会	25	宅野	2	まちセン運営委員会
12	静間	5	地区社協	26	大国	7	まちセン運営委員会
		4	まちセン運営委員会	27	馬路	2	地区社協
13	五十猛	10	地区社協		合計	155	

(3) 大田市健康・生きがいつくりフェスティバルの開催

◇会 場 大田運動公園外

◇内 容 スポーツ大会等（グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾーン・ボール、サイクリング、健康マラソン、ターゲットバードゴルフ、将棋）

◇参加者 323名

8. 生活支援体制整備事業

大田市が指定した5か所の事業モデル地区での協議会の設立と事業の実施について、大田市及び関係機関と連携して取組みの支援を行った。また、モデル地区以外の各地区での研修会等へ積極的に参加し、事業取組みの啓発と推進を図った。

(1) モデル指定地区への支援

①モデル指定地区での協議会設置状況

地 区 名	協議会の名称	協議会の設立日	第2層生活支援コーディネーターの配置数
川 合 町	川合地域ささえあい協議会	平成28年10月11日	1名
波 根 町	波根地域ふれあい協議会	平成28年 8月 9日	2名
温泉津町湯里	ゆさと元気会	平成28年10月18日	2名
久 利 町	久利まちづくり推進協議会	平成28年10月 1日	1名
温泉津町井田	井田なごみ園	平成28年12月12日	5名

②大田市生活支援体制整備事業高齢者通いの場づくり事業モデル地区連絡会への出席

・平成28年6月27日（月）

③生活支援コーディネーター情報交換会の開催

協議会に配置された第2層生活支援コーディネーター相互情報交換と関係機関との連携を

目的とした情報交換会を行った。

- ・実施日：平成29年2月24日（金）、平成29年3月24日（金）
- ・内 容：市役所からの連絡事項、意見交換（情報交換、事業の成果と課題など）

レクリエーションミニ講座

(2) モデル指定地区以外の地区での協議会設立の支援

モデル指定地区以外においても、協議会設立に関する地域内での協議が各地で行われており、取組みへ向けた地域住民への理解を深めることを目的とした研修会や検討会へ積極的に参画し、情報の提供や支援を行った。

(3) 事業の推進及び啓発を目的とした研修会の開催

①市内での事業の推進と啓発を目的として、関係機関・団体及び施設、住民を対象とした研修会を開催した。いずれも多数の参加者があり、市内での事業への関心と理解を高める機会となった。

◇第1回地域福祉研修会「地域で取り組む介護予防のまちづくり」

実施日：平成28年8月5日（金）

会 場：大田市民センター4階

内 容：講演／講師 同志社大学社会学部准教授 永田 祐氏

演題「総合事業と地域づくりのこれから」

参加者数：142名

◇第2回地域福祉研修会「新たな通いの場づくりについて」

実施日：平成29年2月17日（金）

会 場：大田市民会館大ホール

内 容：モデル地区事例報告、シンポジウム「地域主体の新たな通いの場づくりの取組み」

総括講演／講師 島根大学教育学部教授 作野広和氏

演題「新たな通いの場づくり」の制度と意義

参加者数：365名

②市内での事業に対する理解と啓発のための資料の作成

次年度以降に大田市内において協議会の設立についての検討・協議が各地で活発に取り組み、事業を推進していくための啓発を図るため、平成28年度モデル地区の実践事例集を作成した。

(4) 生活支援体制整備事業に関する先進地への視察研修を行った。

視察先：新潟県上越市 上越市役所、NPO 法人牧振興会

実施日：平成28年5月17日（火）～18日（水）

研修内容：生活支援体制整備事業の市内での実施状況及び市内介護予防実践地区視察

9. 福祉教育の推進

◇ふくしの学び合い推進事業（県社協モデル指定事業）

①障がいと高齢者への理解及び体験学習（小・中・高校生）

疑似体験やグループワークを中心とした体験型学習により、障がい者及び高齢者の特性の理解と心のバリアフリーを学ぶと共に、地域にある様々な活動や生活の中の工夫につ

◇相談内容別件数

内容	金銭等民事	不動産	家族・親族	行政事件	刑事事件	その他民事
件数	4	1	10	0	0	0

(4) 石見法律相談センター面談相談

◇開設日 毎月1回 10:00～15:40

◇相談件数 77件(前年度86件)

(5) 関西大学法科大学院市民法律相談(面談相談)

◇開設日 平成28年 8月29日(月)

◇場所 大田市民会館

◇相談件数 8件(前年度10件)

2. 生活困窮者等に対する支援

経済的困窮や社会的孤立などの様々な課題を抱える地域住民からの相談に応じ、関係者・関係機関等との連携を図りながら、社会的経済的な自立に向けて、本人の意向を踏まえながら、本人の状況に合わせて、包括的・経済的に支援を行った。

(1) 相談支援の実績

相談支援件数

電話相談・連絡	54	他機関との会議	8
訪問・同行支援	57	他機関との電話照会・協議・連絡	88
面談	89	その他	0
		合計	296

◇新規相談者の状況

①性別・年代

	男性	女性	不明	合計
10代	0	0	0	0
20代	1	0	0	1
30代	3	0	0	3
40代	2	1	0	3
50代	3	1	0	4
60～64歳	2	2	0	4
65歳～	5	1	0	6
不明	0	0	0	0
合計	16	5	0	21

②世帯状況

単身	夫婦のみ	親子	三世代以上	その他	不明	合計
10	1	7	2	1	0	21

③住居状況

持家 (戸建)	持家 (集合)	借家 (戸建)	借家 (集合)	施設	無し	不明	合計
12	0	1	6	0	2	0	21

④相談経路

本人	家族・知人	行政	民生委員	ハローワーク	その他	合計
14	0	5	0	0	2	21

⑤相談形態

来所	電話	訪問	合計
12	3	6	21

⑥相談内容（複数回答）

病気・健康・障がい	5	地域との関係	0
住まい	6	家族との関係	1
収入・生活費	20	子育て	1
家賃・ローン支払い	5	介護	2
税金・公共料金支払い	3	引きこもり・不登校	0
債務	6	DV・虐待	0
仕事探し・就職	2	食べるものがない	4
仕事上の不安・トラブル	1	その他	0
		計	56

◇緊急一時的支援の実施状況

項目	件数
食糧支援	55
緊急現金貸付(民生融金)	14

(2) 広報・啓発

◇地域住民等への啓発

- ①関係機関と連携し生活困窮者自立支援事業についての研修 5回
- ②民生児童委員協議会研修会において事業説明

(3) 関連事業

◇フードバンク事業（ひとり一品運動）

- ・食料寄付件数 34件（団体：3件、個人：31件）
（前年度 22件、団体：2件、個人：20件）
- ・食料支援件数 90件（生保世帯等含む）（前年度57件）

3. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が十分でないため、福祉サー

ビスの利用や日常的な金銭管理等をひとりでは十分にできない方々の福祉サービスの利用援助などを行う事業であり、島根県社協の委託を受け、積極的に事業に取り組んできた。特に日常的な金銭管理業務に留まることなく、関係機関・団体等と連携を密にし、要支援者の生活全般の支援に努めてきた。また、生活支援員の資質の向上と制度への理解を図るため講師を招き研修会を開催した。

(1) 利用件数 94件 (前年度96件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
35	18	39	2	94

※その他2件 (若年認知症)

※新規利用件数19件、終了件数21件

終了理由 (死亡:8件、施設入所:6件、親族引受:1件、自立:1件、後見移行5件)

※生活保護 35件 (前年度34件)

(2) 相談件数 2,190件 (前年度1,664件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
758	559	758	115	2,190

(3) 生活支援員研修会 (生活支援員:登録者40名)

<第1回>県社協主催 生活支援員・専門員研修会

◇期 日 平成28年 9月28日 (水)

◇場 所 いわみーる

◇内 容 ・事務局説明 日常生活自立支援事業の現状
 ・講 議 最近の消費者トラブル事例とその対応
 ・講 師 島根県消費者センター
 ・講義・演習 「知的障がい者の特性理解と対人援助」
 講 師 竹下 英男 (社会福祉法人わかば会 サポートセンターおおち 相談支援専門員)

◇参加者 生活支援員 16名

<第2回>

◇期 日 平成29年 1月23日 (月)

◇場 所 大田市民センター4階

◇内 容 「ギャンブル依存のある方への対応」

◇講 師 佐藤 寛志氏 (島根県立心と体の相談センター 主任精神保健福祉士)

◇参加者 生活支援員 20名

4. 生活福祉資金貸付事業

収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進するために貸付を行った。

◇資金相談対応件数 249件 (前年度 285件)

◇平成28年度貸付決定数・金額

9件 6,612,000円 (前年度8件 7,322,000円)

資金種類	件数	金額	備考
総合支援資金	0	0	
福祉資金(福祉費)	2	152,000	技能習得経費:1件(介護福祉士実務者研修) 一時的必要経費:1件
福祉資金(緊急小口資金)	2	61,000	生活費(年金のつなぎ)
教育支援資金	5	6,399,000	大学・専門:2件 高校:3件 ※母子父子寡婦福祉資金併用:1件
不動産担保型生活資金	0	0	資金交付中:1件
合計	9	6,612,000	

5. 民生融金貸付事業

収入の少ない世帯に対し、生活上の相談に応じ、経済的な安定や自立支援を図るために、貸付を行なった。

◇平成28年度貸付実績 20件 400,000円 (前年度15件 350,000円)

◇使途別の件数・金額

種別	使途	件数	金額	備考
生活資金(5万円以内)	生活保護のつなぎ	0	0	
	生活福祉資金のつなぎ	0	0	
	年金のつなぎ	2	100,000	
	その他	3	150,000	医療費、生活費等
緊急現金(1万円以内)		15	150,000	
合計		20	400,000	

◇平成28年度償還状況

償還完了件数 14件

償還件数・金額 48件 390,000円

6. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

地域福祉推進の観点から後見等が必要な住民の財産と権利を護り、地域のセーフティネットとしての役割を果たすため、本会が法人後見を受任している。また、継続的に出雲成年後見センターの毎月実施される研修会及び定例会に参加するなど研鑽を図った。

◇受任件数 3名(男性2名、女性1名) (前年度3名)

類型	受任件数	区分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	0	0	0	0	0	0	0
後見	3	0	2	1	0	0	0
合計	3	0	2	1	0	0	0

※在宅、現在入院中の後見業務1件（親族と複数後見）

※新規受任件数1件、終了件数1件

※法人後見運営委員会開催回数1回

(2) 大田市成年後見支援センター事業

成年後見制度の利用促進及び成年後見人の育成、支援を図り、地域住民の権利擁護の推進に資することを目的として設置し、成年後見制度利用の支援、成年後見を行う人材の育成、紹介、後見人に対する支援、権利擁護の推進に係る啓発、研修等を行った。

①大田市成年後見支援センター運営委員会

大田市成年後見支援センター運営委員会を設け、市民後見人養成に向けた研修会等を開催した。

◇委員会回数 2回

◇委員数 12名

②相談ケース 20件

③市民後見人の推薦監督 推薦 5名（うち選任 4名、累計市民後見人10名）

④成年後見制度・私のおんしんノート出前講座

◇開催個所数 7ヶ所

◇参加者数 203名

⑤出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加

◇事例検討会参加 12回

◇成年後見意識啓発セミナー講演会参加

共同募金配分事業

各地区社協・福祉事業実施団体・当事者組織等へ、事業助成を行った。（助成一覧：別紙2参照）

◇助成実績額 6,972,337円

◇募金実績額 9,769,473円

老人福祉センター管理運営事業

1. 大田老人福祉センター

(1) 利用団体総数 759団体

(2) 利用者総数 23,118名

2. 仁摩老人福祉センター（びしゃもん）

(1) 市内利用者数 9,364名（老人7,536名、大人1,791名、小人37名）

(2) 市外利用者数 156名（大人140名、小人16名）

(3) 収入合計 2,052,436円

その他社会福祉の推進

1. 各関係機関・団体との連携強化並びに活動支援

各関係機関・団体との連携を密にし、協働による事業展開を図るとともに活動支援を実施した。

(1) 関係機関等との連携

- ①大田市障がい者自立支援協議会への参画
- ②大田市地域医療支援対策協議会への参画

(2) 事務局受託事業・支援

【団体名】

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	大田市老人クラブ連合会	4	大田市民生児童委員協議会
2	大田市障がい者関係団体連絡協議会	5	島根県共同募金会大田市共同募金委員会
3	大田市身体障がい者福祉協会	6	日本赤十字社島根県支部大田市地区

(3) その他関係機関・団体等

【機関・団体名】

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	大田市	6	大田市婦人団体連絡協議会
2	大田市自治会連合会	7	大田市小学校校長会
3	大田市公民館連絡協議会	8	大田市中学校校長会
4	大田警察署	9	大田市地域医療支援対策協議会
5	大田消防署	10	大田市地域包括支援センター

平成28年度 事業報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

社会福祉法人大田市社会福祉協議会